



追加型投信／海外／資産複合

オーストラリア好利回り3資産バランス

(年2回決算型)〈愛称:実りの大地〉

〈為替ヘッジあり〉(年2回決算型)〈愛称:実りの大地(ヘッジあり)〉

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料

データ基準日:2022年9月15日

本資料では「オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)」、「オーストラリア好利回り3資産バランス〈為替ヘッジあり〉(年2回決算型)」を総称して「当ファンド」、また其々のファンドを「各ファンド」ということがあります。また其々を「実りの大地」、「実りの大地(ヘッジあり)」と、愛称で表記する場合があります。

平素は「オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)〈愛称:実りの大地〉」、「オーストラリア好利回り3資産バランス〈為替ヘッジあり〉(年2回決算型)〈愛称:実りの大地(ヘッジあり)〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、各ファンドは2022年9月15日に決算を迎え、当期の分配金(1万口当たり、税引前)につきまして、組入資産からの利息・配当収益等に基づき(〈実りの大地(ヘッジあり)〉に関しては為替ヘッジに伴うコストも勘案し)下記の通りといたしました。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2022年9月15日)

	実りの大地	実りの大地(ヘッジあり)
分配金 (1万口当たり、税引前)	130円	40円
基準価額 (1万口当たり、分配落ち後)	12,358円	9,537円

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

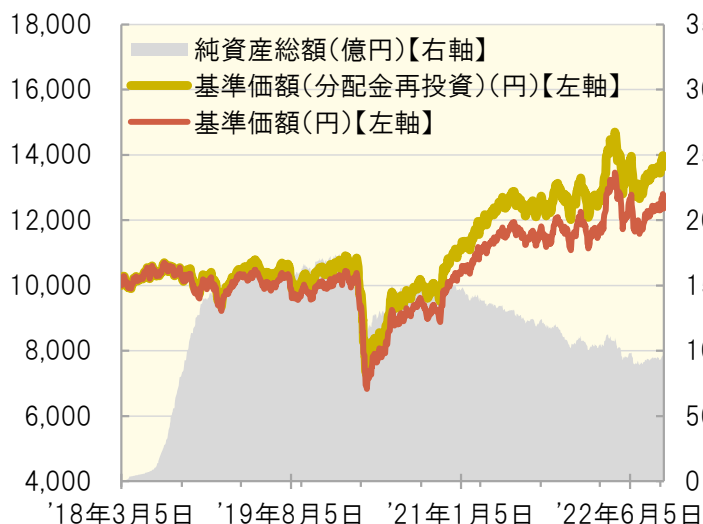
実りの大地	第5期 (2020年9月)	第6期 (2021年3月)	第7期 (2021年9月)	第8期 (2022年3月)	第9期 (2022年9月)	設定来累計
	100円	85円	70円	80円	130円	1,015円
実りの大地 (ヘッジあり)	第2期 (2020年9月)	第3期 (2021年3月)	第4期 (2021年9月)	第5期 (2022年3月)	第6期 (2022年9月)	設定来累計
	70円	65円	55円	65円	40円	310円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額の推移

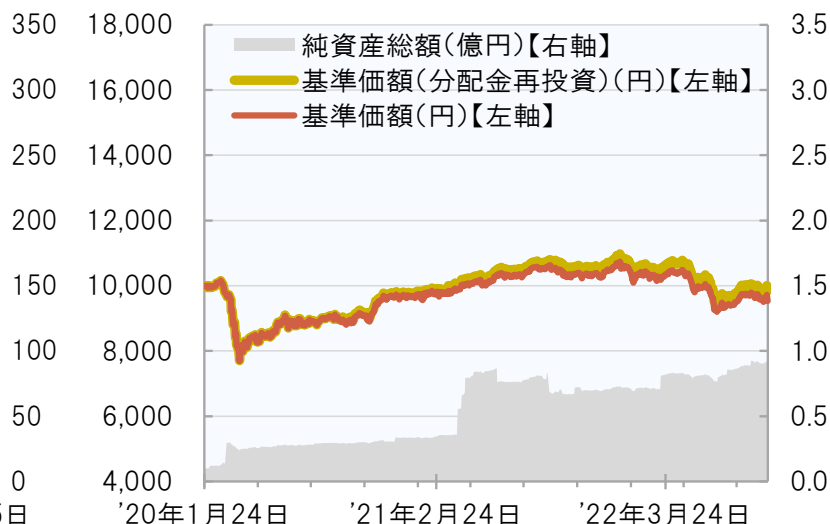
実りの大地

(期間:2018年3月5日(設定日)~2022年9月15日)



実りの大地(ヘッジあり)

(期間:2020年1月24日(設定日)~2022年9月15日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮していません。

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)〈愛称:実りの大地〉

オーストラリア好利回り3資産バランス〈為替ヘッジあり〉(年2回決算型)〈愛称:実りの大地(ヘッジあり)〉

当期の市場環境について

【市場環境】

Q

・当期の投資対象市場はどうでしたか？

A

- ・社債市場、株式市場、リート市場は下落しました。
- ・豪ドルは対円で上昇しました。

＜債券市場＞

オーストラリアの社債市場は、当該期間を通じて見ると、下落しました。豪州準備銀行(RBA)が政策金利を引き上げたこと等から豪州金利が上昇したこと等がマイナスとなり、オーストラリアの社債市場は下落しました。

＜株式市場＞

オーストラリアの株式市場は下落しました。期初から2022年6月にかけては、中国での都市封鎖や各国中央銀行の金融引き締め加速への警戒感などを背景に景気後退懸念が高まったことなどから下落しました。その後は、オーストラリアや米国などの一部経済指標でインフレの鈍化が見られたことなどから上昇しました。

＜リート市場＞

オーストラリアのリート市場は下落しました。米国やオーストラリアでの金融引き締め策により、景気悪化懸念などが意識されたことなどが背景です。また倉庫需要が減退していること等への警戒感も、投資家心理を慎重な姿勢へと変化させました。

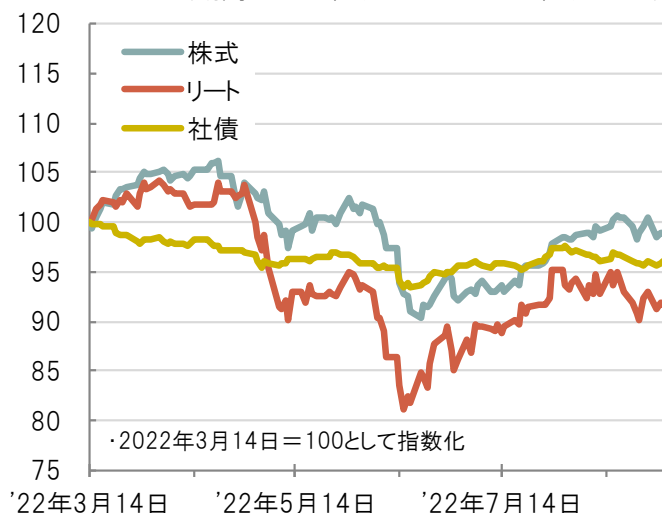
＜為替市場＞

豪ドルは、資源価格の上昇や金融緩和姿勢を維持する日本との金利差などから、対円で上昇しました。

(マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成)
(2022年8月31日現在)

オーストラリアの社債、株式、リート市場の推移

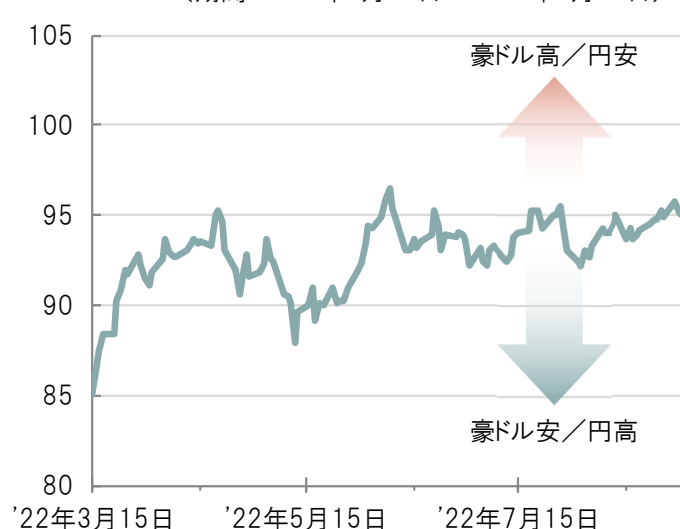
(期間:2022年3月14日～2022年8月31日)



※ 上記の市況は基準価額の算出基準に合わせて、前回決算日の前営業日からの期間を表示しています。

豪ドル(対円)の推移

(円) (期間:2022年3月15日～2022年8月31日)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- 上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用した指数について】をご覧ください。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)〈愛称:実りの大地〉

「実りの大地」 当期の運用状況について

【運用状況】

Q

・ 当期はどのような運用を行いましたか？

A

・ 資産配分比率を6月15日より債券:株式:リート=40:35:17.5に変更しました。

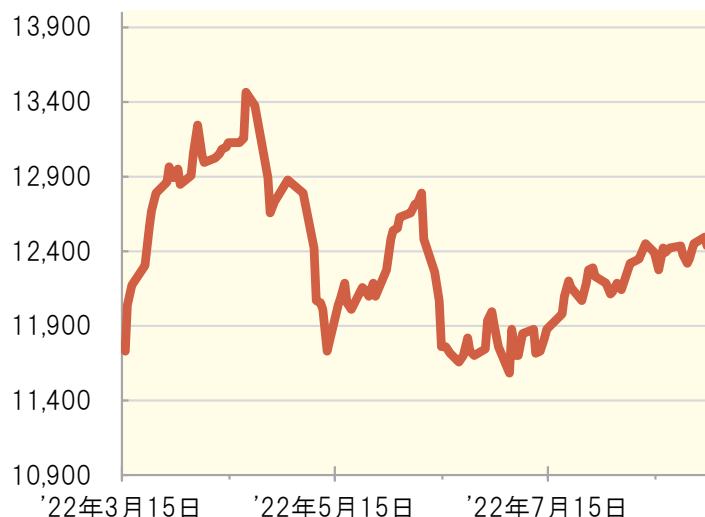
期初は、基本資産配分比率となる、債券:株式:リート=40:40:20の資産配分比率としていました。

その後、世界的な景気減速への懸念などを受け、6月15日に資産配分比率の見直しを行い、投資リスクの抑制をはかりました。以降の資産配分は、債券:株式:リート=40:35:17.5としています。主に為替の上昇がプラスに寄与し、基準価格は上昇しました。

(マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成) (2022年8月31日現在)

前期末からの基準価額の推移

(円) (期間: 2022年3月15日～2022年8月31日)



「実りの大地」の資産構成と利回りの変化

2022年3月末

■ 資産構成

	基本 資産配分	比率
外国債券	40.0%	38.7%
外国株式	40.0%	39.0%
外国リート	20.0%	19.3%
コールローン他	—	3.0%

資産配分
比率を変更

2022年8月末

■ 資産構成

	基本 資産配分	比率
外国債券	40.0%	40.1%
外国株式	40.0%	35.2%
外国リート	20.0%	17.4%
コールローン他	—	7.4%

比率は純資産総額に対する各マザーファンド受益証券の割合です。投資環境の大幅な悪化が予想される場合、豪ドル預金等を活用し、投資リスクの抑制をめざします。なお、豪ドル預金等はコールローン他に含まれます。

■ 利回り

	利回り
ファンド	4.2%
外国債券	3.7%
外国株式	5.4%
外国リート	3.4%
豪ドル預金等	—

投資対象資産
利回り上昇

■ 利回り

	利回り
ファンド	5.5%
外国債券	5.3%
外国株式	7.6%
外国リート	3.9%
豪ドル預金等	—

※外国債券は「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」、外国株式は「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」、外国リートは「マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド」を通じて実質的な投資を行います。

- ・ 上記の利回りは一時点のものであり、今後変化することがあります。
- ・ ファンドの利回りは、各資産の利回りを資産配分比率で加重平均しています。よって当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。債券は最終利回り、株式、リートは実績配当利回りをそれぞれ加重平均して計算したものを表示しています。また、株式、リートについては投資対象マザーファンド、債券については、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース(債券先物を含む)を基に算出しています。
- ・ 豪ドル預金等は、投資環境の大幅な悪化が予想される場合、豪ドルのオーバーナイト預金金利を使用し簡便的に算出するため、実際の値とは異なります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等は考慮していません。

オーストラリア好利回り3資産バランス〈為替ヘッジあり〉(年2回決算型)〈愛称:実りの大地(ヘッジあり)〉

「実りの大地(ヘッジあり)」 当期の運用状況について

【運用状況】

Q

・ 当期はどのような運用を行いましたか？

A

・ 資産配分比率を6月15日より債券:株式:リート=40:35:17.5に変更しました。

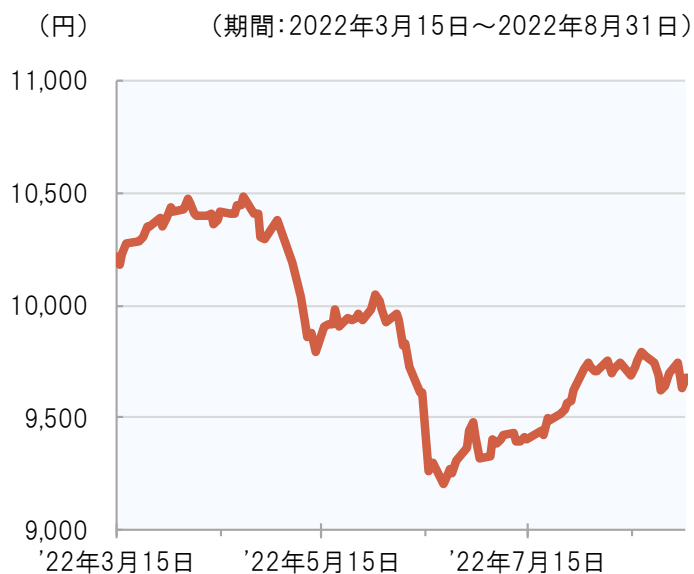
期初は、基本資産配分比率となる、債券:株式:リート=40:40:20の資産配分比率としていました。

その後、世界的な景気減速への懸念などを受け、6月15日に、資産配分比率の見直しを行い、株式・リートを引き下げ、一方、預金等の組入比率を引き上げ、投資リスクの抑制をはかりました。以降の資産配分は、債券:株式:リート=40:35:17.5としています。債券、株式、リート下落がマイナスに影響し、基準価格は下落しました。

(マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成)

(2022年8月31日現在)

前期末からの基準価額の推移



為替ヘッジコスト(年率)の推移



■ 上記の為替ヘッジコストは、豪ドル(対円)の直物レートと先物(1ヵ月)レートから三菱UFJ国際投信が算出したものであり、実際の為替ヘッジコストとは異なります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等は考慮していません。

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)〈愛称:実りの大地〉

オーストラリア好利回り3資産バランス〈為替ヘッジあり〉(年2回決算型)〈愛称:実りの大地(ヘッジあり)〉

今後の市場見通しおよび運用方針について

【市場見通し】

Q

・投資する市場の今後の見通しはどうか？

A

- ・債券市場では、デフォルト率は低水準にあり、今後、同水準が続くと考えています。
- ・株式市場では、企業の業績動向が注目されると考えています。
- ・リート市場では、景気後退リスクなどから、高品質な不動産を保有するリートが物色されると考えています。
- ・豪ドルは、比較的堅調な資源価格や貿易黒字の拡大から底堅く推移すると考えています。

＜債券市場＞

地域やセクターで経済の回復の程度にばらつきがあるものの、ハイ・イールド市場を含めた社債市場全体で見ると、デフォルト率は低水準にあり、今後、同水準が続くことが見込まれます。また、商品価格の見通しの改善が市場の上昇要因になると考えられます。

＜株式市場＞

株式市場では、需要の減少や経済成長の鈍化などが懸念される中、企業の業績動向が注目されると考えています。

＜リート市場＞

高金利と高インフレ、景気後退リスクの高まりなど、新しい経済環境やリスクに直面していると見ています。持続可能な成長が期待され、財務の健全性が高いなどの高品質な不動産を保有するリートが物色されやすい市場環境になると考えています。

(マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドのコメント等を基に三菱UFJ国際投信作成)

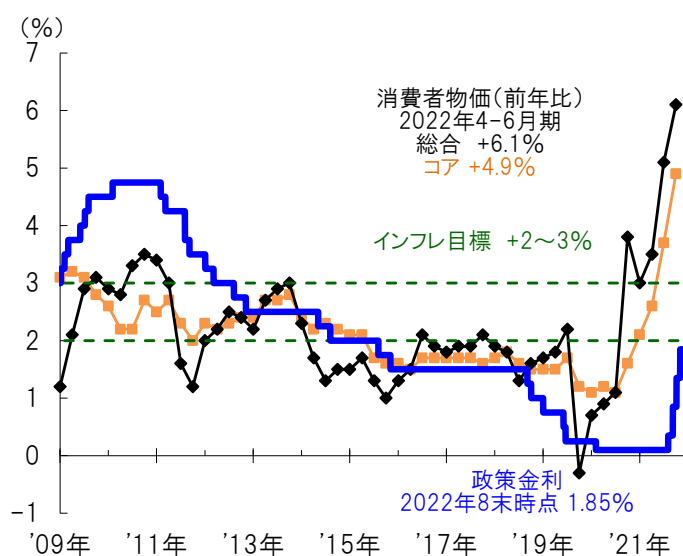
＜為替市場＞

豪中銀は今後の政策運営はデータ次第であると強調しており、豪ドルは経済指標の影響を受け変動しやすいと見ています。景気減速が強まる中、利上げ観測は下方修正されやすく豪ドルの上値を抑える可能性があります。一方、主要輸出品の資源価格が比較的堅調で貿易黒字も拡大しているため、底堅さも見られる見通しです。

(2022年8月31日現在)

豪 政策金利、消費者物価の推移

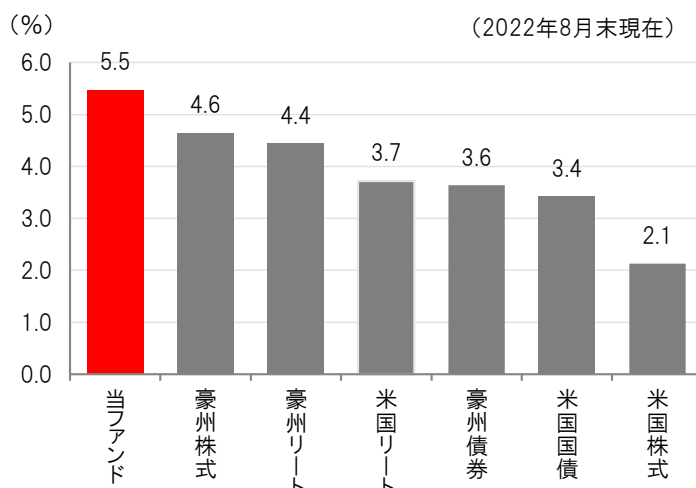
(期間: 2009年9月～2022年8月、消費者物価は2022年4～6月期まで)



(出所) 豪統計局、豪準備銀行のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

主要資産の利回り

相対的に高い利回りで魅力的な豪州資産



「当ファンド」の利回りは、株式、リートについては投資対象マザーファンド、債券についてはマッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース(債券先物を含む)の利回りを、「実りの大地」の資産配分比率で加重平均して算出しています。よって当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。債券は最終利回り、株式、リートは実績配当利回りを表示しています。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- 上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用した指数について】をご参照ください。

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)〈愛称:実りの大地〉

オーストラリア好利回り3資産バランス〈為替ヘッジあり〉(年2回決算型)〈愛称:実りの大地(ヘッジあり)〉

今後の市場見通しおよび運用方針について(続き)

【今後の運用方針】

＜債券＞ 今後は地政学的リスクの高まり等、想定されるリスク要因をふまえて、米国、豪州の景気動向や金融政策等、豪州社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、より慎重な銘柄選択を行っていく方針です。

＜株式＞ オーストラリアの人口動態分析、マクロ経済分析などのトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行う方針です。

＜リート＞ 不動産価値の向上が期待できる、優良な物件を保有するリートを重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

＜実りの大地／実りの大地(ヘッジあり)＞

債券、株式およびリートへの資産配分比率は、40:40:20を維持することを基本としますが、投資環境の悪化などを背景に、6月15日に基本資産配分比率の見直しを行い、債券、株式およびリートへの資産配分比率は、40:35:17.5としました。資産配分にあたり、複数の重要なマクロ動向に注目しています。1つ目は、欧州の電気料金および天然ガス価格の急騰、2つ目は、深刻な干ばつが食料とエネルギー価格に与えた影響と、それによる欧州と中国のサプライチェーンへの打撃、3つ目に中国の不動産セクターが引き続きストレスの兆候を示していること、4つ目に米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長によるインフレの抑制が最も重要だという繰り返しの言及です。

豪州準備銀行(RBA)は、織り込み済みとなっている利上げの一部は行わず、ターミナルレート(利上げの最終地点)は他の先進国よりも低い水準になると考えています。豪州と他の先進国のインフレ率の見通しには大きな違いがあり、豪州は住宅変動金利の割合が高く、また他の先進国よりも家計債務を多く抱えることからRBAの利上げは家計支出に大きな影響を与えるでしょう。

運用チームでは各経済指標を予測し、その結果として中央銀行の金融政策決定とその後の景気後退リスクが市場にどのような影響を及ぼすかを注意深くみており、今後数カ月は市場のボラティリティ(価格変動)はさらに高まると予想しています。したがって、価格下落方向のリスクを抑制することに引き続き重点を置いています。

(マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドのコメント等を基に三菱UFJ国際投信作成)
(2022年8月31日現在)

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

【本資料で使用した指数について】

株式、豪州株式(=S&P/ASX 200指数)

S&P/ASX 200指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。

リート、豪リート(=S&P/ASX200 A-REIT Index)

S&P/ASX200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを表す指数です。

豪州債券(=ブルームバーグ オーストラリア債券(総合)インデックス)

ブルームバーグ オーストラリア債券(総合)インデックスとは、オーストラリアの債券市場の値動きを表す指数です。

社債(=ブルームバーグ オーストラリア社債インデックス)

ブルームバーグ オーストラリア社債インデックスとは、オーストラリアの社債市場の値動きを表す指数です。

米国リート(=FTSE NAREIT All Equity REITs Index)

FTSE NAREIT All Equity REITs Indexとは、米国リーートの値動きを表す指数です。

米国内債(=FTSE米国内債インデックス)

FTSE米国内債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、米国内債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。

米国株式(=ダウ・ジョーンズ工業株価平均)

ダウ・ジョーンズ工業株価平均とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国を代表する優良30銘柄で構成されています。

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

こちらからもアクセスいただけます。



■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）＜愛称：実りの大地（ヘッジあり）＞ オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）＜愛称：実りの大地＞

追加型投信／海外／資産複合

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

オーストラリアの債券、株式および不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、利子・配当収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 オーストラリアの債券、株式および不動産投資信託証券（以下、「リート」といいます。）を実質的な主要投資対象とします。

※実際の運用は、債券については「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」、株式は「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」、リートは「マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド」を通じて行います。

「オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）」

・上記主要投資対象のほか、豪ドル預金または円預金等（コールローンを含みます。以下同じ。）を活用することがあります。

「オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）」

・上記主要投資対象のほか、豪ドル預金等を活用することがあります。

特色2 債券、株式およびリートへの資産配分比率は、原則として、40:40:20を維持することを基本とします（以下「基本資産配分比率」といいます。）。なお資産配分比率は、投資環境等に応じて見直すことがあります。

特色3 「オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）」

投資環境の大幅な悪化が予想される場合には、株式・リートの実質組入比率を引き下げる一方、豪ドル預金または円預金等の組入比率を引き上げ、投資リスクの抑制をはかります。

・基準価額の変動リスクを抑制することを目的として、株式・リートの実質組入比率を引き下げる一方、為替ヘッジの影響や金利水準等を考慮し、豪ドル預金または円預金等の組入比率を最大40%まで引き上げます。

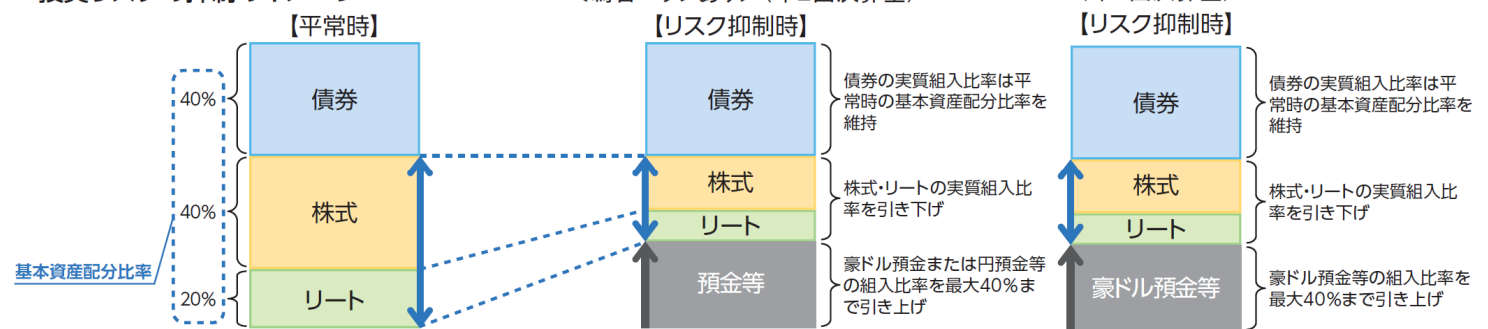
「オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）」

投資環境の大幅な悪化が予想される場合には、株式・リートの実質組入比率を引き下げる一方、豪ドル預金等の組入比率を引き上げ、投資リスクの抑制をはかります。

・豪ドルベースでの基準価額の変動リスクを抑制することを目的として、株式・リートの実質組入比率を引き下げる一方、豪ドル預金等の組入比率を最大40%まで引き上げます。

・マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドからの、主にバリュエーション（投資価値基準）、企業業績等の定量判断に加えて、定性判断（運用チームによるディスカッション等）を考慮した案に基づいて、委託会社が総合的に決定します。

＜投資リスクの抑制のイメージ＞



！ 上記はイメージです。また、市場環境等によって上記のような運用ができない場合があります。

特色4 ファンドの運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドの運用力を活用します。

・各マザーファンドの運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。

・各マザーファンドへの投資比率は、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドからのアドバイスを受け、決定します。

特色5 「オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）」

原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

「オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）」

原則として為替ヘッジは行いません。

・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

・為替ヘッジの活用

為替予約取引を活用し為替ヘッジを行うことにより、為替ヘッジをしなかった場合と比較して安定した値動きが期待されます。ただし、為替ヘッジにより、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

なお、為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

特色6 年2回の決算時（3月、9月の各15日（休業日の場合は翌営業日））に分配を行います。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）＜愛称：実りの大地（ヘッジあり）＞ オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）＜愛称：実りの大地＞

追加型投信／海外／資産複合

ファンドの目的・特色

■ファンドの仕組み

- ・ファミリーファンド方式により運用を行います。
- ＜投資対象ファンド＞
- マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド
- マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド
- マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド

【マザーファンドの特色】

マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドの特色

- ・オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等が主要投資対象です。
- ・豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。
- ・デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、国債等に投資する場合があります。
- ・債券等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。
- ・債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。
- ・原則として、為替ヘッジを行いません。

マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンドの特色

- ・オーストラリアの企業が発行する株式が主要投資対象です。
- ・株式等への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。
- ・株式等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。
- ・原則として、為替ヘッジを行いません。

マッコーリー オーストラリアREITマザーファンドの特色

- ・オーストラリアの不動産投資信託証券*（リート）を主要投資対象とし、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。
- ・*一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。
- ・不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。
- ・不動産投資信託証券等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。
- ・原則として、為替ヘッジを行いません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。（次ページに続きます。）

価格変動 リスク	・債券の価格は、市場金利の変動の影響を受けて変動します。一般に市場金利が上がると、債券の価格は下落し、組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。市場金利の変動による債券価格の変動は、一般にその債券の残存期間が長いほど大きくなる傾向があります。 ・株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。 ・リートの価格は、リート市場全体の動向のほか、保有不動産等の価値やそこから得られる収益の増減等により変動します。また、金利上昇時にはリートの配当（分配金）利回りの相対的な魅力が弱まるため、リートの価格が下落することがあります。組入リートの価格下落は、基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	■オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型） 組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。 ■オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型） 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）＜愛称：実りの大地（ヘッジあり）＞
オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）＜愛称：実りの大地＞

追加型投信／海外／資産複合

投資リスク

信用 リスク	有価証券等の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、有価証券等の価格が下落（債券の場合は利回りが上昇）すること、配当金が減額あるいは支払いが停止、または利払いや償還金の支払いが滞ること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。 （金融機関の実質的な破たんに関するリスク） 金融機関の破たん処理等に関し、株主だけでなく債権者にも損失負担を求める措置（ベイル・イン）に関する法制度が導入される国・地域においては、監督当局により実質破たん状態にあると認定された金融機関について、劣後債や優先証券、普通社債等についても元本の一部もしくは全部の削減や、発行体の普通株式への転換等、損失吸収措置がとられる可能性があり、この場合にはファンドの基準価額が大きく下落する要因となります。
流動性 リスク	有価証券等を売買しようとする際に、その有価証券等の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。 また、ファンドが組み入れる劣後債および優先証券等は、一般の公社債と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。
リート固有 のリスク	リートは、一般的に収入の大部分を出資者に分配するため、内部留保される資金額が限定されます。そこで新たな事業への投資にあたっては外部から資金を調達する場合がありますが、財務内容が良好でないと判断されたリートは、外部からの資金調達が困難となり、価格が下落することがあります。また、借り入れにより外部資金調達を行っている場合、金利上昇時には借入金負担が大きくなることでリートの価格が下落したり配当金が減額あるいは停止されることがあるほか、金融市場の状況やリートの運営状況によっては借入金の借り換えが出来ず、運営が破たんすることがあります。また、リートのスポンサー、運用会社等による事業の運営管理手法等が、リートの収益力や財務内容の悪化を招きリートの価格形成等に影響を与えることがあります。
劣後債および優先証券等（以下、「ハイブリッド証券」といいます）への投資には次のような特徴があり、価格変動・信用・流動性の各リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。 （法的弁済順位の劣後） 一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破たん等に陥った場合、普通社債等の元利金が支払われてもハイブリッド証券は元利金の支払いを受けられないことがあります。また、発行体が経営不安、倒産、国有化などに陥った場合には、ハイブリッド証券の価値が大きく減少すること、または無くなることもあり、この場合にはファンドの基準価額が大幅に下落することがあります。さらに、ハイブリッド証券は、一般的に同一発行体の普通社債と比較して低い格付けが格付機関により付与されています。 （繰上償還の延期・前倒し） 一般的にハイブリッド証券には、繰上償還（コール）条項が付与されており、この繰上償還の実施は発行体が決定することとなっています。繰上償還されることを前提として取引されている証券もあり、これらの証券が市場で予想されていた期日に繰上償還が実施されない場合、あるいは実施されないと見込まれる場合、また市場で予想されていた期日以前に償還される場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。 （利息・配当の繰り延べまたは停止） 利息または配当の支払い繰り延べ条項を有するハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。この場合、期待される利払いや配当が得られないこととなり、ハイブリッド証券の価格が下落する可能性があります。 （損失吸収条項） 金融機関が発行するハイブリッド証券の中には、監督当局により実質破たん状態にあると認定された場合等に元本の一部もしくは全部が削減される、または発行体の普通株式に転換されるなどの損失吸収条項が付与されているものがあります。損失吸収条項に該当した場合、ハイブリッド証券の価格は大きく下落することがあります。 （株式等への転換） 一部のハイブリッド証券には、発行体の判断で実質的に株式等に転換する条項が付与されている場合があります。これらの証券が転換される、もしくは転換されると見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。 （制度変更等） 将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。	
ファンドは、格付けの低い投資適格未満の普通社債、劣後債および優先証券等に投資する場合がありますが、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。	

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）（愛称：実りの大地（ヘッジあり）） **オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）（愛称：実りの大地）**

追加型投信／海外／資産複合

投資リスク

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・ファンドは、マッコーリー オーストラリアREITマザーファンドを通じて、実質的にオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。オーストラリアの不動産投資信託証券の配当金に関しては、オーストラリアの税制が適用されます。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・オーストラリア証券取引所、シドニー先物取引所、シドニーの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ（「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」）をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	■オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型） 2028年3月15日まで（2020年1月24日設定） ■オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型） 2028年3月15日まで（2018年3月5日設定）
繰上償還	ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年3・9月の15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）（愛称：実りの大地（ヘッジあり）） オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）（愛称：実りの大地）

追加型投信／海外／資産複合

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限2.20%（税抜 2.00%）**（販売会社が定めます）
（購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。）

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬） 日々の純資産総額に対して、**年率1.65%（税抜 年率1.50%）**をかけた額
※上場投資信託（リート）は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・マッコーリー オーストラリアREITマザーファンドの換金に伴う信託財産留保額・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社（ファンドの運用の指図等）

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

＜ホームページアドレス＞ <https://www.am.mufg.jp/>

＜お客さま専用フリーダイヤル＞ 0120-151034

（受付時間 営業日の9:00～17:00）

●受託会社（ファンドの財産の保管・管理等）

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)／オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
auカブコム証券株式会社(年2回決算型のみ取扱)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に＊の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。